

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	活水女子大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	カッスイジョシダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	文学部・音楽学部・健康生活学部
	担当教職員名・役職	学生部長 久木野睦子 就職課長代理 奥山浩一朗
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	41
	受入企業等数	285
	受入企業等名	http://www.kwassui.ac.jp/university/shinrosyusyoku/internship/internship.html
	インターンシップの分類	4.他県をまたぐ広域インターンシップ,6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入先にて業務体験を行う。業務に関連するイベントの準備や運営なども行う。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次から3年次
	2-4.当該インターンシップで与えられる単位数(記述欄)	2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	教養科目「インターンシップ」として、主に3年生を対象に、夏期休暇中の1週間～2週間程度のインターンシップを行っている。企業などでの就業体験を行うことによって、職業意識の高揚や仕事に取り組む真摯な態度の涵養を目指している。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの趣旨や目的を明確にする。その上で、インターンシップに臨むにあたっての心構え、ビジネスマナー、報告書・日誌・お礼状の書き方、コミュニケーション力向上講座などを行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ報告書・日誌を読み返し、グループ内で報告発表を行う。インターンシップ前後に測定した職業能力の伸長票(全体・個人集計)を用いて、グループ内で振り返りを行う。また、「働くとは」についてグループディスカッションを行う。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	就職課員が、学生のインターンシップ期間中に、受入先に訪問を行う。その際に、学生と接触ができた場合は、状況を聞き、必要に応じてアドバイスをを行う。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている,2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	職業能力評価基準(中央職業能力開発協会)を参考にして、独自の質問紙を作成し、インターンシップ前と後とでその力の伸びを測定している。また、職業観においても独自の質問紙を作成し、比較を行っている。学生の自己評価ではあるが、能力の伸長を可視化することで、学生は客観的に自己を振り返ることができている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	

	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄) 5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	株式会社浜屋百貨店にて6日間、長崎市科学館にて10日間、国立大学法人長崎大学にて10日間、対馬市役所にて5日間など、インターンシップを行っている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	長崎インターンシップ推進協議会を通じてインターンシップを行っている。推進協議会、大学関係者、受入先企業担当者を交えて、会議を行い、インターンシップ実施にあたっての改善に取り組んでいる。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	「別途提出済み」
問い合わせ先	大学等名	活水女子大学
	担当部署名	就職課
	担当者役職名	就職課長代理
	担当者氏名	奥山浩一郎
	電話番号	095-820-6012
	メールアドレス	emplosec@kwassui.ac.jp